

2. 作成グループが自主防災会・避難所運営組織の場合

自主防災会や避難所運営委員会がe防災マップを作成した場合の活用方法をいくつか紹介します。

- ・ 作成したマップや理解した災害特性をふまえて災害時の対応行動を検討したり、その対応行動が実際にできるか検証する。
- ・ 地域で「初動対応マニュアル」や「避難所運営マニュアル」などを作成している場合、作成したe防災マップはそのマニュアルの資料の1つとして加える。そして、そのマニュアルを参照しながら災害時の行動をマップ上で模擬してみる。
- ・ e防災マップを作成する過程で疑問に感じたこと、マニュアルを読んで不自然に感じたことなどを議題にして検討してみる。
- ・ 地域に関係する事業者や住民に、作成したe防災マップを配布する。

e防災マップの作成後の活動についても、グループページを活用して、活動記録に書き込みましょう。記録に残すことで振り返りやすくなり、継続的に防災活動ができる可能性があります。

3. 作成グループが防災系のグループの場合

地域の自主防災会や避難所運営組織など、防災に深く関係するグループに作成したマップをプレゼントしましょう。そして、今後、共同で防災のことについて考えるための意見交換をするなど、交流を持つことが重要です。急がずに取り組みましょう。

グループページへ招待することも可能です。その際は、事務局までお問い合わせください。対応いたします。

◆ 定期的にメンテナンスをしましょう

- ◆ 1度作って終わらせるのではなく、最低1年に1度はe防災マップの確認作業が必要でしょう。本サイトは、複数年にわたって運営する予定ですので、来年度も活用していただけると幸いです。